



特定非営利活動法人 なんとなくのにお 通信

URL <http://www.nantonakuno.net/>

Mail info@nantonakuno.net

ホームページ・工事中

ここ1年、「なんにわホームページ」の更新がとどこおっています。そこで思い切って、いままでのページを全面改訂することにしました。

「ホームページ」の原型はWWWと呼ばれる論文検索システムです。1989年にヨーロッパの物理研究所で発明されました。1990年代になり、ネット接続ソフトを標準でサポートした「Windows95」が発売されました。この時期、「ネットサーフィン」という言葉があらわれるなど、WWWは研究所から世界へと爆発的に普及しました。この仕組みを「インターネット」と呼ぶ人もいほどネット上では必須のシステムとして日常使われています。はじめてWWWに触れたのは1990年頃。それから10年の間に「今市の水を守る市民の会」や所属する音楽グループのホームページを作るなど、ページ記述言語（HTML）には親しんできました。ワープロのように画面に文字と画像を並べてページを作る「ホームページビルダー」も使ってみました。どちらかというと単純な、「メモ帳」のようなエディタを使い、タグ（ページレイアウトの目印）を付けてページを書き起こしていく作り方が好きでした。

今回の改訂では、「ワードプレス（WordPress 略称:WP）」のお世話になることにしました。WPは使用料を払うことなく、自由に使うことのできるホームページ作成ソフトです。居場所のスタッフが書き込んだり、写真を貼り付けたり、ブログのように操作できるということで、変更を決めました。ところが、いざ取りかかってみると、森に迷い込んだような、どこをどうやったらいいのか、どこから始めたらいいのかわからない。そこで、当会の会員でもある佐藤順さん（未来システムデザイン研究所）に協力していただき、「工事」を進めています。

なんとなくのにお

不登校の子のための居場所

検索

子どもたちが家にこもらず、外へ目をむけて遊びに来れる、そんな場所です。
2004年、不登校の子、ひきこもりがちの子の親が集まって作りました。
のんびりゆっくり、自由に好きなことのできる子どもの居場所。ひけめなど感じずいられるところです。
日光市平ヶ嶺の大きな家で毎週月、火、水、木、金 12:30～16:30に開いています。
見守り自由、気軽にきてみてください。親だけで相談にきてもらえません。（電話：090-3227-7079）
《特定非営利活動法人 なんとなくのにお》が日光市の委託を受けて運営しています。
↑サンショウの実をついむドバト、居場所の窓から撮影（2017年10月）



「工事中」のホームページ <http://www.nantonakuno.net/>

始めてすぐに気付いたのは発想の違いです。古い世代の（といっても十年も経っていない「昔」なのですが）ホームページ作成は、個々のページをこつこつと書き込んでいくというやりかたでした。WPの世界では、初期設定を行うと、あっという間に全体の枠組みができてしまいます。その額縁に製作者の表現したい文章や映像や音声をはめこんでいく作業が、ホームページを作ることになります。古いやりかたにこだわると、「あれ、この文が表示されるためにはここに書いて、こういうタグを付けなければ」とか「この画像はどこに置くとよいだろう」とかあれこれ考えることになります。WPの持つ文書や画像などの位置については標準仕様にしたがい、細部にこだわらずページの要素を並べてしまうという発想の転換が必要だなあと感じました。

パソコン黎明期の「手続き型志向」で育った世代としては、「動けばオッケー」は苦手です。それに加えて、基本的な動作まで理解したいという「こだわり」が邪魔になるという場面がある。WPを始めるには、むしろ昔のやり方を知らないほうがよいのかもしれない。もし、画面デザインを自分流に直したいとすれば、HTMLやプログラミングの知識が必要になります。その壁に気付いたら、そこで学ばばよいのでしょう。などなど、あれこれ考えながら、ゆっくりホームページを改訂していきたいと思います。もし「こういうページがあればいいね」というアイデアがありましたら教えてください。作成協力者も歓迎です。これからも「なんにわHP」をよろしく。（T）

目次

ホームページ・工事中	1
川むしたんけん隊(9/30)	2
活動日誌	3
ワカモノ・フェスタ	3
こんな本はいかが・39	4



居場所のひとこま

10月最後の金曜日は「つくって食べよう」の日。買い出し担当スタッフの自転車が到着。おなかですいている子もいる。さて、いつから始めよう。なんとなく役割がきまり、焼きそば調理とお食事が同時進行でした。フィニッシュは「焼うどん」（写真）。これもおいしく仕上がり、みんな大満足。（N）

■ 川むしたんけん隊 9/30(土)

小百・板穴川にて 《今市の水を守る会》との共同開催

9月30日の板穴川。数日前からの降雨で水量多く、当初計画の場所を変更して新滑川橋下で「川むしたんけん」を行いました。岩盤の上を滑るように流れてくる水は冷たく、量も多かったのですが、参加してくれた父兄の協力のもと、無事に川床を渡ることができました。

左岸に近い水深5~10cmのところ、小石の下や砂の中、草の生えている所に網を使って探し出した生き物は、指標生物を含め全部で18種類でした。きれいな水に棲む指標生物になっているヒラタカゲロウ類・カワゲラ類・ヘビトンボがたくさん見つかり、この地点の水質は一きれいな水「水質階級Ⅰ」と分類できました。他にも特徴のはっきりわかるトビケラがいましたよ。それは指標生物にはなっていませんが、岩の表面に柄杓のような巣を吊り下げているキタガミトビケラの幼虫で、たくさんいました。この虫の説明には；「体長15mm、山地溪流の早瀬に生息。植物の破片で作られた長円錐形の筒巣を作り、その前後に長い柄があり、これを石などに固着させる」とあるので、ここに棲んでいる理由がよくわかります。このキタガミトビケラを見つけたのは小学生の男子でした。よく探し出してくれたものです。

川の生き物達は季節の違いや川の違い、同じ川でも場所を変えただけで棲んでいる種類がずいぶん異なります。今市には大きい川・小さい川がたくさんありますね。次に出かける川はどこにしましょうか。そこではどんな生き物が見つかるのでしょうか。また皆さんと川で会えるのを楽しみにしています。

(今市の水を守る市民の会：塚崎庸子)

記録：2017年9月30日(土) 午前10時40分

日光市小百(板穴川)

うす曇り 気温20℃、水温：14℃

採取場所：左岸寄りの小石や砂利の下

採取水深：5~10cm

流速：毎秒20~25cm

川底：きれい、滑らか

川水：にごり、におい、まったくなし

採取された昆虫など：

ナミウズムシ、サワガニ、ヒラタカゲロウ類、

カワゲラ類、ヘビトンボ、

ヤマトトビケラ類

ヒゲナガカワトビケラ類、タニガワカゲロウ類、

ヒラタドロムシ類



写真提供：いのくら児童クラブ

子育て・親育ちの茶話会

場所：子どもの居場所(日光市平ヶ崎)

日時：毎月第2月曜日(午前10時~12時)

次回の予定はお問い合わせください。

参加費：300円(お茶代)

同じ悩みを持つ親御さん同士、気持ちを許し合って、情報や悩みを分かち合しましょう。「一人で悩まず、みんなで！」を合い言葉に。(Tel: 090-3227-7079)

- 7月31日(月) 通信「なんとなくのひろば・第48号」発行
- 8月20日(日) 子どもの学びと未来の語り合い(南原公民館)参加(デモクラティック・スクールつながるひろば)
- 8月27日(日) ワカモノフェスタ実行委員会
- 8月27日(日) ベリー会:学習会
- 9月2日(土) 日光ボランティア・市民活動フェスタ2017
- 9月6日(水) 理事会(第79回)
- 9月11日(月) 茶話会(第78回)
- 9月22日(金) つくって食べよう(ジャガイモチーズ焼き)
- 9月23日(土) ワカモノフェスタ実行委員会
- 9月24日(日) ベリー会:学習会
- 9月30日(土) 「川むしたんけん隊」(小百・板穴川)講師:塚崎庸子さん
- 10月14日(土) 日光市ひきこもり相談センター・講演会(第2回)参加
ひきこもり支援の現状とこれから 講師:中野謙作さん
- 10月27日(金) 子どもの居場所・つくって食べよう(焼きそば、焼うどん)
- 10月29日(日) ワカモノフェスタ実行委員会
- 10月29日(日) ベリー会
- 10月30日(月) 栃木県土壌放射能汚染調査結果の報告とワークショップ(宇都宮大)



土壌放射能測定をやっています
詳細は次号

さくらそう関連の勉強会など

- 平成29年度相談支援専門員連絡会(毎月第4水曜日 午後2時より)に参加しています。
- 5/24「営業のプロから学ぶ 対人援助技術」、6/12「人格障がいとは?」、
- 7/26「特別支援学校での就労支援」・「フィールドの支援」・「障害者雇用コンサルティングサービスについて」、
- 8/23 通院介助(院内介助)共通の「院内介助チェックシート」について、
- 9/27「障害者の就労」について(ハローワーク・チャレンジコミュニティ)、10/25 座談会・手話講座
- 県圏域障害者相談支援事業者等連絡会(第3回) 9月15日(金)「コミュニケーションスキルを学ぶ」

ワカモノフェスタ! 今年も参加します。当日協力いただける方、お知らせください。

ワカモノフェスタ

～ 共につくる虹の世界 ～

2017

日時 12月3日(日)
午前10時～午後6時

受付 9:30開始

場所 とちぎ青少年センター(アミックス)
宇都宮市駒生1-1-6
TEL 028(624)1488

参加費 500円
※中学生以下 無料 【交通機関】
JR宇都宮駅より 関東バス「作新学院駒生」行き 東中丸バス停下車

特典付きの前売り券
あります!!!

講演会 14:00～

・高橋 克法(たかはし かつのり)さん
参議院議員 国土交通大臣政務官
高根沢町前町長(4期就任)
～ 講演「ひよこの家物語」～
今年施行された教育の確保法の理想とする学びの場は14年前に高根沢町で始まっていた。

ハイブリッドスリング山田道場
「格闘技」って聞くところってコワイけど、エクササイズでココロもカラダもスベキリク

格闘技体験教室 16:00～

アートパネル(書いたもの・描いたもの・作ったものの展示スペース)あります♪
展示作品、募集します!!!

LGBTQ 講演会 12:00～

・かっちゃん来る!
NHK Eテレ エテュカチオ! に出演して、性の多様性の啓発に努めている彼が話します。

・ライブステージ ・ちぎり絵
・ピアノ演奏 ・しゃべり場
・ボードゲームコーナー
・カフェ ・フリマ
・県内関連団体によるテーマ別分科会
など、様々な企画を用意してお待ちしています(〇)

お問い合わせ
主催 ワカモノフェスタ実行委員会
【電話】080-1593-4523(伊熊)まで
【メール】wakaf11@gmail.com

～まなび場サイド「テーマ別 分科会」も同時開催!～

講演会【ひよこの家物語】14:00～

講演ゲスト:高橋 克法(たかはし かつのり)さん

1958年生まれ。1998年より高根沢町長を4期務められ、2013年、参議院議員に当選。町長時代、「どこで学ぶのではない、何を学ぶかだ!」をスローガンに高根沢町フリースペースひよこの家を設置された。これは、今年施行された「教育機会確保法」の理想とする学校以外の学びの場に他ならない。不登校支援の最先端を既に14年前に設置した高橋さんに「ひよこの家」の全容と不登校支援のあり方についてお話しいただけます。

ミニ講演会【LGBTQ】ゲスト:かっちゃん 12:00～

NHK、Eテレの「エデュカチオ!」、性の多様性を特集した番組で注目を浴び、持ち前の明るさでLGBTQ(セクシャルマイノリティーの 인권)の啓発に努めている。LGBTQについて本質を知る機会です。

N.P.O法人 なんとなくのいわ

【ミニPCで遊ぼう】ミニサイズのコンピュータがお小遣いで買える値段になりました。「子どもの居場所」のあそび道具のひとつ、小型PCを体験してください。(ネットにつながる放射線測定器も展示します)

国際医学生連盟 日本 SCORA

性と生殖、AIDSに関する委員会です。一般市民、特に若者の性に関する知識や意識を向上させることを目指し、HIV/AIDS等の性感染症、セクシャルマイノリティ、妊娠/出産、デートDV等様々なトピックを扱っています。

デモクラティックスクールつながるひろば

学校以外の教育が選べるようになりました。その子に合った学び育ちを一緒に考えましょう。

栃木登校拒否を考える会

登校拒否の経験を互いに交流し、支え合いや情報交換を通じて、生き方を見つけていく活動をしています。家庭で一人で悩まず、経験者の知恵に学びましょう。

小山フリースクールおたるの家

去年9月にオープンした小山駅近くの一軒家を使ったフリースクール。学校以外の学びの場であるフリースクールとまいったいどんな場所なのか?その概要をおたるの家の現状と合わせて紹介いたします。

N.P.O法人 KHJとちぎベリー会

【不登校・ひきこもり】対応にお困りの方、日々苦しい思いで過ごされている当事者の方、一人で苦しまず、仲間力を感じて見ませんか?ご参加お待ちしております。

主催:ワカモノフェスタ実行委員会 共催:一般財団法人栃木県青年会館
後援:各教育委員会(現在申請中) 栃木県子ども若者・ひきこもり総合相談センター

お問い合わせは TEL 090-9100-0821(中野)まで



こんな本はいかが？

その39: 発達障害をもった絵本作家の本

今回は、発達障害をもった絵本作家2人の作品を紹介します。ご自身の体験から生み出された作品が多いのですが、はっとさせられる言葉や場面が数多く登場します。やはりどんな子どもにも温かく包んでくれる仲間や大人が必要です。子どもだけではなく大人にも、是非読んでいただきたい絵本です。

① 「ありがとう、フォルカー先生」

パトリシア・ポラッコ 作・絵 岩崎書店 2001年

これは、作者の自伝的なお話です。トリシャには、字も数字もくねくねした形にしか見えません。クラスの友だちから本が読めないことで笑われ、苦しみます。でもフォルカー先生という新しい先生にトリシャの絵のすばらしさをほめられ、そこからトリシャの特別な勉強が始まります。

② 「がらくた学級の奇跡」 パトリシア・ポラッコ 作・絵 小峰書店 2016年

トリシャの入った特別クラスは「がらくた学級」と呼ばれています。でも、ちょっと変わったクラスメイトや型破りなピーターソン先生に温かく迎えられる。周りの心ない言葉に傷つきながらも、「がらくたにはすばらしい可能性があるのよ！」というピーターソン先生の言葉を信じて、自分たちの夢をかなえようとします。

③ 「てん」 ピーター・レイノルズ 作 あすなろ書房 2004年

このレイノルズもまた、自身が発達的なでこぼこがあることを語っています。幼い頃から絵や漫画を描くのが大好きで、それを認め励ましてくれた教師との出会いが、現在の仕事につながったと言っています。お絵かきなんて大嫌いなワシテが苦しまぎれに描いたちっぽけな《てん》。先生の意外な対応で面白いことが展開します。

④ 「つばい」 ピーター・レイノルズ 文・絵 主婦の友社 2009年

じょうずにできるって、そんなに大切？ ラモンは絵を描くのが大好きなのに、おにいちゃんに笑われてから、本物そっくりに描こうと練習します。でも、うまくいなくて…

妹のマリソルに「あたし、この絵が好き。ちゃんとかびんつばい絵だよ。かびんのきもちがするもん」と言われ、ラモンの気持ちが変わり始めます。

⑤ 「そののいろって」 ピーター・レイノルズ 文・絵 主婦の友社 2012年

あなたのそのはどんな色をしているんだろう。マリソルは絵を描くのが大好き。空を描きたいけど青がなかった。それからずっと空をながめていたら、空はいろいろな色に変わる。マリソルは、絵の具をまぜて、あたらしい空の色を作ったのです。
(白井)

私たちの活動目的：

日光市とその周辺地区に居住する子どもおよび青少年等に対して、学習や自立のための支援活動と地域への啓発活動を行い、社会に出た後も継続性のある、支援と学びの場を作り出します。

私たちの事業：

- ① 子どもたちの自主性および自立性を尊重した居場所の提供および学びの場の運営
- ② 子どもたち一人ひとりに対応した、新たなカリキュラムや学習内容の開発
- ③ インターネットなどのIT環境を活用した学びの支援
- ④ 教育についての相談や情報提供活動
- ⑤ 学校外で育つ青少年の自立に関する相談および就労を支援する活動
- ⑥ 自然環境の中での学びを作り出し、自然環境保全の大切さを啓発する活動
- ⑦ 障がいの理解および啓発に関する企画運営事業
- ⑧ 第二種社会福祉事業の相談支援事業経営

会員について

正会員：56
賛助会員：19
団体会員：4
入会金はありません。

年会費(一口)
正会員 3,000円
賛助会員
個人 5,000円
団体 10,000円

私たちの活動は会費と寄付金でまかなわれています。会員を継続し、応援よろしくお願いします。会員は新たな事業の提案、会の事業の運営などに直接かかわることができます。皆様の積極的な参加をお願いいたします。



なんとなくのへや

ノーベル物理学賞の発表が10月3日にあり「重力波の直接検出」に中心的な貢献を行った3人が受賞することになりました。改良に改良を重ねたふたつの観測装置が米国に完成し、テスト測定を始めたばかりの2015年9月14日、ブラック

ホールの合体による重力波をとらえました■速報を見たときに心に浮かんだのは「ビギナズ・ラック」。太陽質量の数十倍もあるブラックホールが合体するなんてそれほど頻繁にはないだろうという先入観が私にあったからです■ところが同年12月にはまた1例が観測され、今年8月にはイタリアの装置が共同して動き出した直後、さらに1例の「重力のさざ波」を検出しました。この宇宙ではブラックホールの合体は希なイベントではなく、宇宙は想像以上に騒がしいようです■中性子星同士の合体による重力波も発見され、到来方向を探索して、可視光からガンマ線までの観測データを得たというニュースもありました。鉄より重い元素の起源について、これまでの推測を覆す結果が得られたとの報告もあります■重力波検出論文の著者名リストには1千人をこえる科学者が名を連ねています。国際共同による重力波観測装置は光学望遠鏡、電波望遠鏡などと並ぶ画期的な観測手段となりそうです。いままでの常識を塗り替え、宇宙の成り立ちを知る要となるデータを探す新たな窓、「重力波望遠鏡」の今後に期待したいと思います。(T)